

2024/10/12 高橋真梨子with Henry Band
EPILOGUE in 立川ステージガーデン

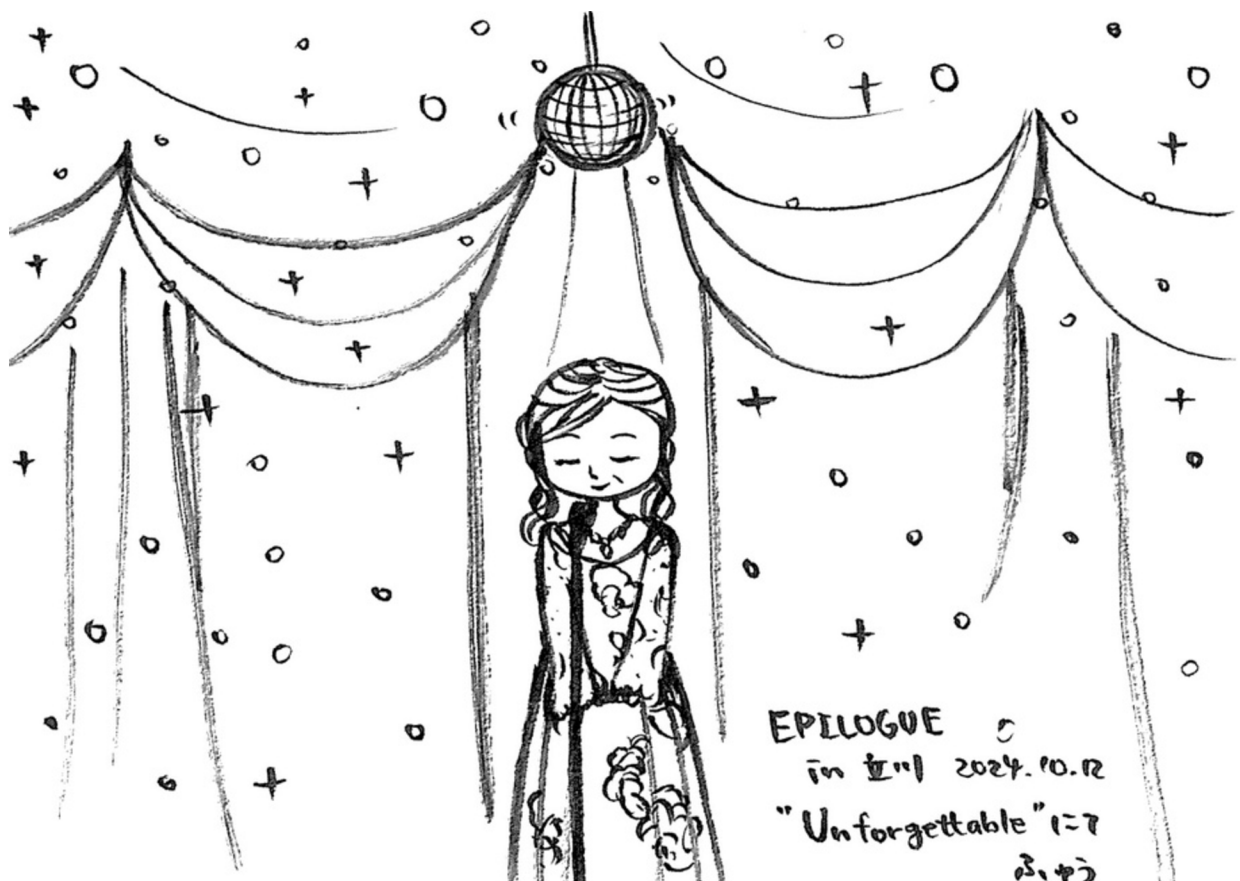
一昨年11月の国際フォーラム以来、初の立川ステージガーデン。手作りのプラ板(今季ディナーショービジュアルの真梨子さん)を携えて行って来ました！

真梨子さんは、ourDaysツアーより更にお元気になられたご様子。緊急入院されていたとのことと心配だったのですが、そんな心配が秒で飛ぶくらいの、一曲目の歌声と序盤の喋りのはつらつさでした…！

歌声は全体を通して上々！途中、テンションが上がりすぎたのか声が若干上擦った箇所もありましたが、とにかくお元気で、こんなに元気な真梨子さんはいつぶりだろうとたまらなく嬉しくなりました。



ステージのセットやライティングは、今までの流れを汲むような、まっすぐな光を活かしたシンプルながらも華やかな演出でしたが、バックスクリーンが過去一大きく映像も綺麗な物で、真梨子さんの歌の世界をより色濃く演出していました。特にジャズナンバーのところは、真梨子さんがかつて歌われていたクラブの雰囲気そのままステージに作り上げたような鮮やかさと華やかさで、大きなホールに聴きに来ているのにクラブの距離感で真梨子さん達が奏でてくれているような感覚になりました。



先行発表されていたセットリストは私は直前まで一切見ずに来たのですが、いざ聴いてみたらすごくいい意味で意外性満点！いつもなら連なっているあの曲同士があえて離してあったり、前回歌われたいくつかの曲が無かったりしたのも、今回の構成から考えるととても自然で、真梨子さんとヘンリーさんのこれまでの思いとこれからの歩みを垣間見た感じがしました。

ダンスは前回より更にしっかりめで、中盤のスタンディングはまさかのぶっ通し3曲！めっちゃ汗かきました笑 バンドのサウンドも、元気いっぱいの真梨子さんと息を合わせるようにメリハリ強め。衣装も可愛いのとクールなのとでメリハリが効いていました。アンコールドレスは年齢を重ねるごとにお姫様度が上がっていて、今回は花嫁レベルで可愛すぎました……。



全体的に、わたしが真梨子さんのコンサートへ初めて行った頃…2010年代の真梨子さんを
思わせるような感じがして、
懐かしさと楽しさ、驚きがいっぱいでした。
ourDaysでもそうだったのですが、
一旦歌い出すとどんどん力が湧くのか、
一ステージの中だけでも真梨子さんがみるみる
若々しくキラキラしてくるのです。
聴きに来た私達に丁寧に応えて
くださっているのと、
「歌は人生」という
真梨子さんの決意の現れなのではないでしょうか…

公演数がいつもより少ない分、一回一回が
濃ゆいステージになるのかな…？と、
今後もワクワクしてしまうような、
あっという間の2時間強でした。
また来年、真梨子さん達に会えるまで
わたしも「生きて 生きてゆきたい」です。

※イラストはあえて白黒のままにしてみました。

皆さんのコンサートの思い出の「景色に 絵の具を流して」頂けたらと思います。 ふゆう